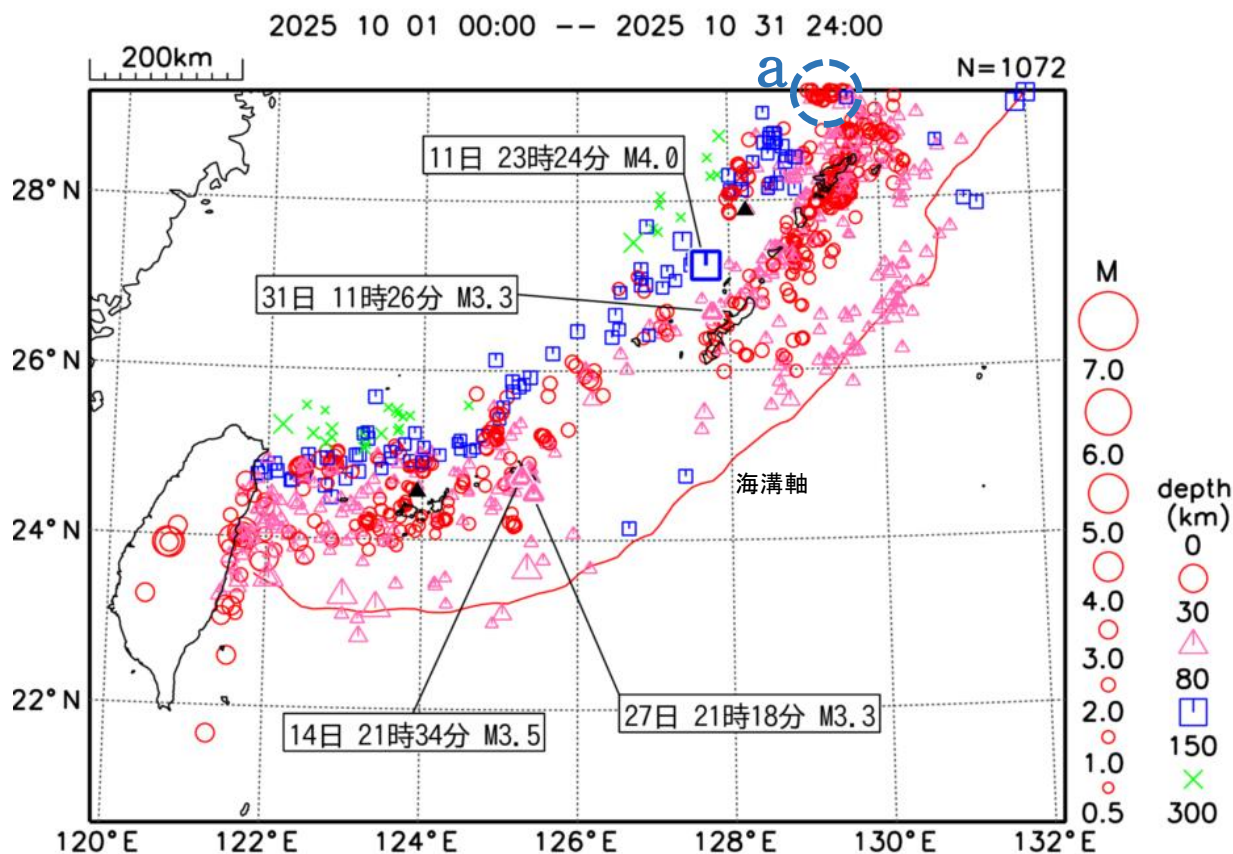


沖縄地方の地震活動

令和 7 年（2025 年）10 月

沖縄気象台

図 1 沖縄県及びその周辺の震央分布図



図中の記号 M : マグニチュード depth : 震源の深さ
N : 地震の回数 (マグニチュード0.5以上の回数です)
▲ : 活火山

沖縄県内で震度 1 以上を観測した場合は、吹き出しで示しています。

[概 況]

今期間に沖縄県内で震度 1 以上を観測した地震は 4 回（9 月も 4 回）でした。

10 月の主な活動は次のとおりです。

トカラ列島近海（図中の領域 a）では、6 月 21 日から地震活動が活発になっており、7 月 3 日 16 時 13 分には M5.5 の地震（最大震度 6 弱）が発生しました。一連の地震活動は、7 月 20 日頃から低下してきており、規模が大きな地震の回数も減少していますが、活動は継続しています。

図 2 - 1 沖縄本島付近の震央分布図及び断面図

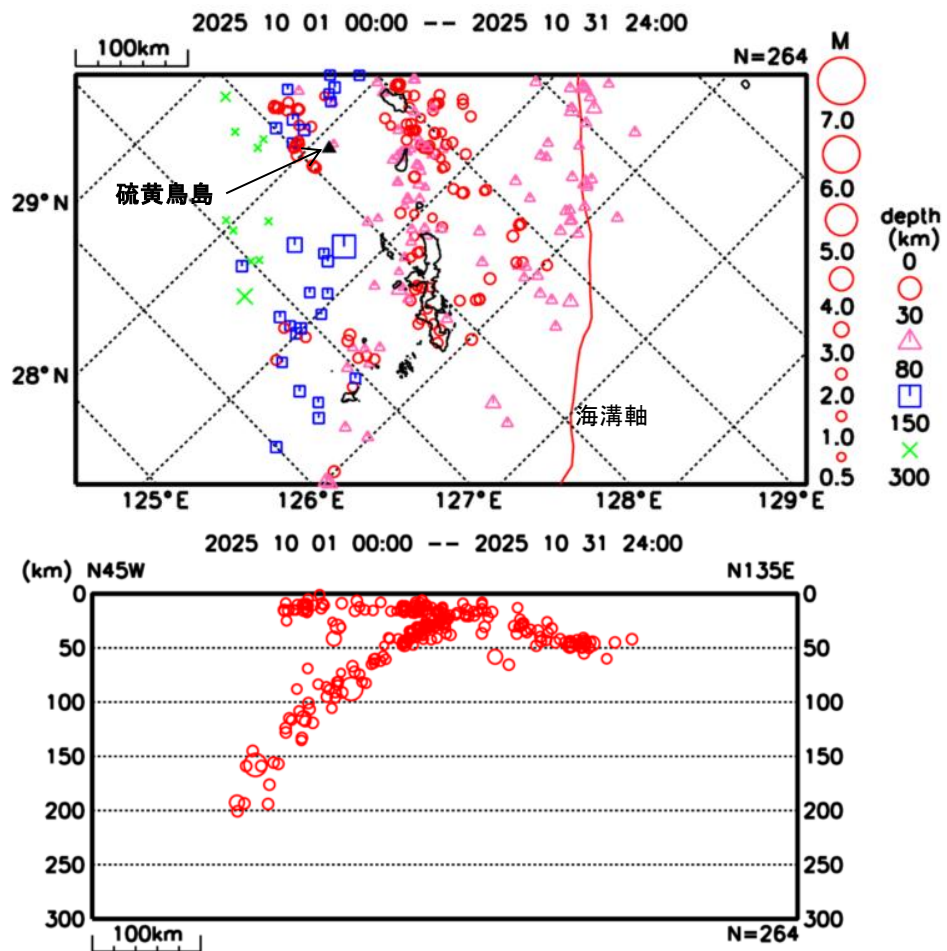


図 2 - 2 宮古・八重山諸島付近の震央分布図及び断面図

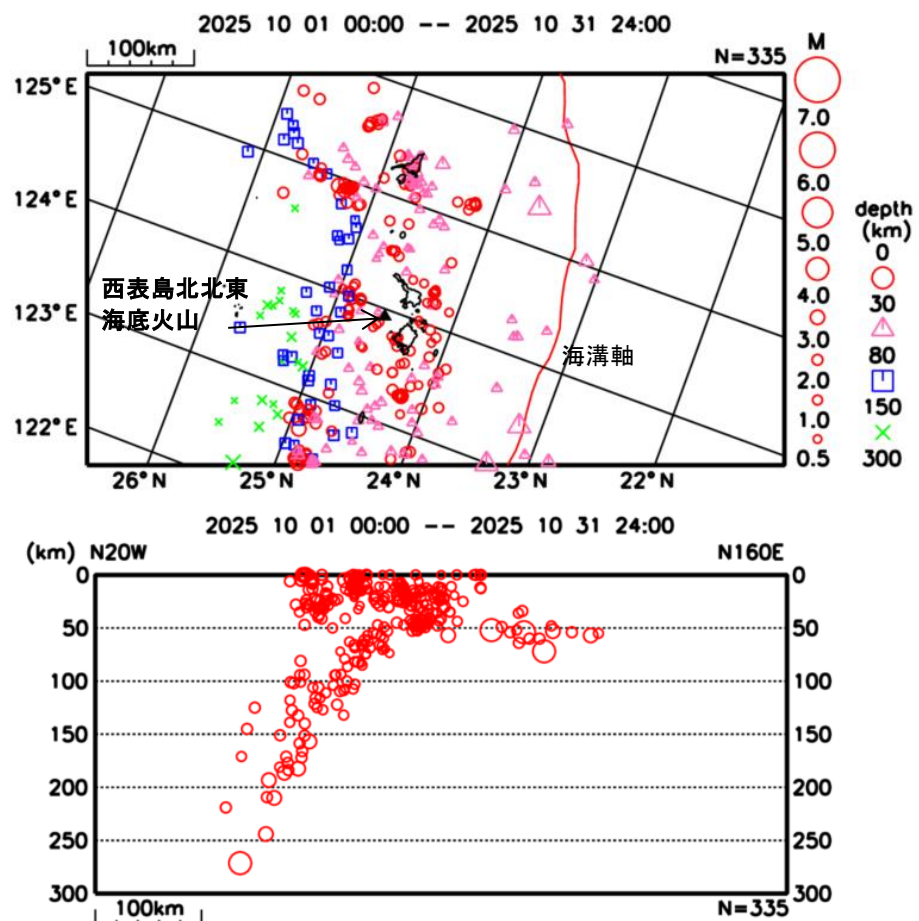
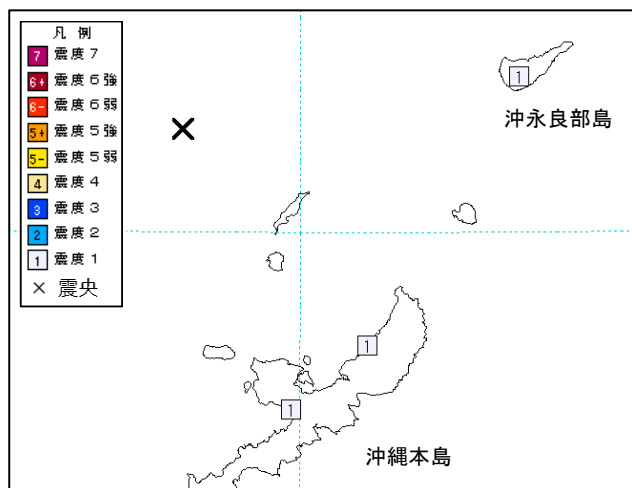
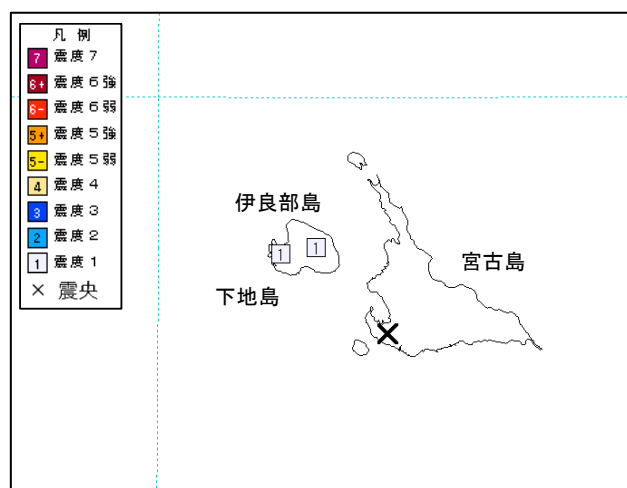


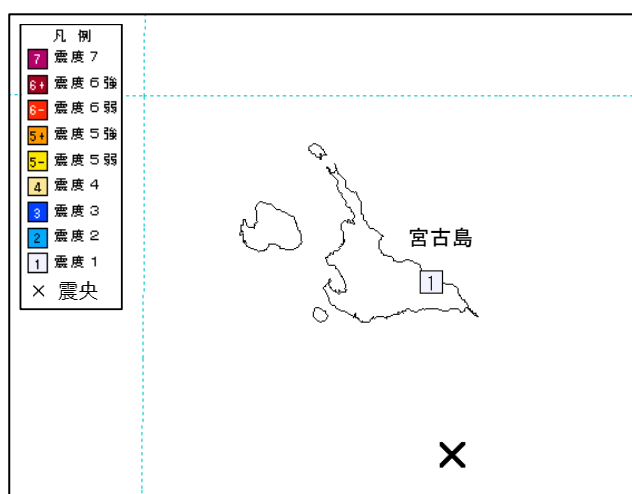
図3 震度分布図



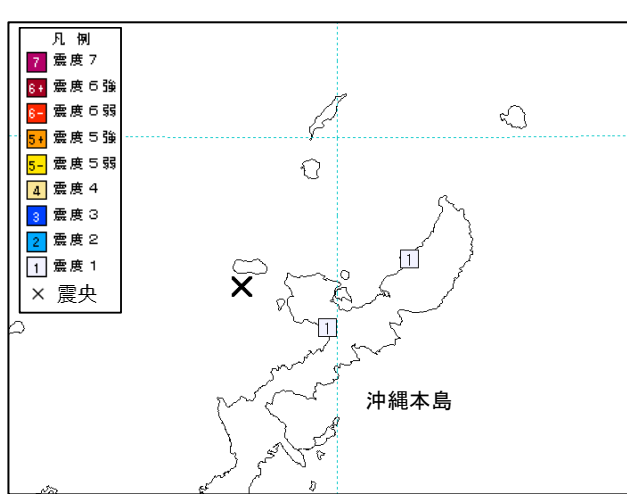
10月11日23時24分 沖縄本島近海 深さ88km M4.0



10月14日21時34分 宮古島近海 深さ44km M3.5



10月27日21時18分 宮古島近海 深さ57km M3.3



10月31日11時26分 沖縄本島近海 深さ46km M3.3

表 1 沖縄県内で震度 1 以上を観測した地震の表（期間 10 月 1 日～10 月 31 日）

震源時 各地の震度	震 央 地 名	緯 度	経 度	深 さ	規 模
2025年10月11日23時24分 沖縄県 震度 1：名護市港＊, 国頭村辺土名＊ 鹿児島県 震度 1：知名町瀬利覚	沖縄本島近海	27° 14.3' N	127° 41.6' E	88km	M4.0
2025年10月14日21時34分 沖縄県 震度 1：宮古島市伊良部前里添, 宮古島市下地島空港＊	宮古島近海	24° 44.3' N	125° 16.9' E	44km	M3.5
2025年10月27日21時18分 沖縄県 震度 1：宮古島市城辺福北	宮古島近海	24° 32.7' N	125° 26.0' E	57km	M3.3
2025年10月31日11時26分 沖縄県 震度 1：名護市港＊, 国頭村辺土名＊	沖縄本島近海	26° 40.8' N	127° 46.2' E	46km	M3.3

＊の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※沖縄地方以外に震度が観測された場合は、その震度も記載します。

※ 資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。

詳細は沖縄気象台ホームページで閲覧できます。

URL <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/jishin/quake.html>

震度 1 以上を観測した地震の震度分布図は、気象庁ホームページ「震度データベース検索」でご覧になれます。

URL <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>

地震・津波・火山に関する防災一口メモ

URL <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/know/memo/sougou.html>

本件に関する問い合わせ先：沖縄気象台地震火山課 098-917-7927

震度の豆知識

沖縄気象台

●震度とマグニチュードの違い

震度は、ある場所での地震による揺れの強さをあらわし、マグニチュードは地震そのものの大きさ（規模）をあらわします。

マグニチュード
=地震の大きさ

震度
=揺れの強さ

●震度観測体制

気象庁が発表する震度は、以前は気象庁職員の体感や、まわりで発生した被害の様子などから決めていました。平成8年に地震による揺れを感知し自動的に震度を計算する「震度計」で震度を観測する体制に移行し、より迅速に全国の震度をお知らせできるようになりました。2025 年（令和 7 年）9 月時点で、気象庁が発表する震度観測点は、全国で 4367 箇所、沖縄県では 84 箇所となっています。



●震度階級

震度の強さを表す震度階級も最初は「微震」「弱震」「強震」「烈震」の4階級で始まり、数回の変更を経て、1996 年（平成 8 年）には現在の「震度 0」「震度 1」「震度 2」「震度 3」「震度 4」「震度 5 弱」「震度 5 強」「震度 6 弱」「震度 6 強」「震度 7」の 10 階級としています。この 10 階級に対して気象庁は実際にどのような現象被害が発生するかをあらかじめ示しておく「気象庁震度階級関連解説表」を作成しました。この表は主に近年発生した被害地震の事例から作成したものです。定期的に内容を点検し、新たな事例や建物・構造物の耐震性の向上等によって実状と合わなくなった場合は表の内容を変更します。

6 強

耐震性が高い

耐震性が低い

【震度 6 強】

- はわないと動くことができない飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

震 度 に つ い て (気 象 庁 H P)

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/shindo/index.html>


地震に関する情報は

沖縄気象台ホームページまで

<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/index.html>

沖縄気象台

Q 検索

